

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1071	(H.22)No.	1071
-----------	------	-----------	------

事務事業名	看護師等修学資金貸付事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	経営総務室	秋永正人	61-1100
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 2年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
	重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	251001
一般会計	(中事業名)	
款	衛生費	看護師等修学資金貸付事業
項	保険衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	看護師等修学資金貸付事業

3. 事務事業の概要

事業概要
看護師及び准看護師を養成する学校又は養成所に在学し、将来保健医療にかかわる事業を実施する名張市及び市内の医療機関(指定期間)に勤務しようとする者に修学資金を貸与する。

めざす効果(事業目的)
市内における看護師等の確保を容易にし、保健医療の充実に図ります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	看護師対象:32件 6,580,000円 准看護師対象:1件 192,000円 合計 6,772,000円 貸与選考委員報酬 7,000円	看護師対象:37件 8,880,000円 准看護師対象:1件 192,000円 合計 9,072,000円 貸与選考委員報酬 7,000円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			看護師対象:37件 8,880,000円 准看護師対象:1件 192,000円 合計 9,072,000円 貸与選考委員報酬 7,000円	看護師対象:37件 8,880,000円 准看護師対象:1件 192,000円 合計 9,072,000円 貸与選考委員報酬 7,000円	看護師対象:37件 8,880,000円 准看護師対象:1件 192,000円 合計 9,072,000円 貸与選考委員報酬 7,000円
直接事業費	6,779千円	9,079千円	9,079千円	9,079千円	9,079千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 6,779	9,079	9,079	9,079	9,079
人工数					
職員	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 365千円	365千円	365千円	365千円	365千円
+ 総事業費	(0千円) 7,144千円	9,444千円	9,444千円	9,444千円	9,444千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。

平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。

企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。

平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件		375	400	400	400
	実績		357	400.9	431.3		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後も厳しい状況におかれる地域医療体制を維持継続していくためにも本制度の充実を図ります。	貸与額の増額(平成15年度に減額した経緯あり)

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 一般財源で取り組んでいる事業であり、財政状況が好転した場合は貸与額の増額を検討することとしたい。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7013-1	(H.22)No.	7013-1
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名		市立病院(病院事業会計)	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	経営総務室	秋永正人	61-1100
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 9年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
	重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)	

2. 予算区分

会計区分		事業コード
病院事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項		(小事業名)
目		

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>高度医療と救急医療に重点を置いた地域の中核病院として平成9年に開院し、現在に至る。 病床数:一般200床 22年度実績 年間延べ患者(入院48,240人、外来71,908人) 一日平均患者数:入院132人、外来296人</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>基本理念である「市民のみなさまに親しまれ親頼される病院を目指します」を常に念頭に置いて市民の命と健康を守ります。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

		平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他()		
主な事業の 実績・計画		・病床数:一般200床 ・22年度実績 年間延患者数 入院48,240人 外来71,908人 一日平均患者数:入院132人、 外来296人 <23年度への繰越明許費: 160,000千円(県支出金80,000千円、 起債80,000千円)	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院55,490人 外来85,982人 一日平均患者数:入院152人、 外来352人	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
				・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院55,490人 外来 85,982人 一日平均患者数: 入院152人、外来 352人	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院55,490人 外来 85,982人 一日平均患者数: 入院152人、外来 352人	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院55,490人 外来 85,982人 一日平均患者数: 入院152人、外来 352人
直接事業費		2,628,351千円	2,963,679千円	2,963,679千円	2,963,679千円	2,963,679千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	37,000	50,000			
	その他()	1,347,864	1,841,004	1,485,854	1,332,853	1,390,421
人工数	職員	213.00人	213.00人	213.00人	213.00人	213.00人
	臨時職員等	50.00人	50.00人	50.00人	50.00人	50.00人
概算人件費		1,950,402千円	2,076,817千円	2,076,817千円	2,076,817千円	2,076,817千円
+ 総事業費		4,578,753千円	5,040,496千円	5,040,496千円	5,040,496千円	5,040,496千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標 実績	年間延べ患者数(入院)	人	55,306	55,490	55,490	55,490	55,490
			48,240	47,565	48,240		
目標 実績	年間延べ患者数(外来)	人	87,388	92,732	87,388	85,982	85,982
			71,908	72,025	71,908		
目標 実績	内科医師の確保	人	7	8	8	8	8
考察及び今後の 対応方針	入院及び外来の患者の増加を図ることと医師の確保を収益改善のための優先課題として対応していく。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
市民の命と健康を守ることと収益改善を図るうえで、医師の確保が第一の課題ですが、そのためにも医師を守る環境整備が必要です。	

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2)(現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1)短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 基本理念である「市民のみなさまに親しまれ信頼される病院を目指し、引き続き現行の体制で継続したい。	